



たいせいグループ通信



2012年3月号 VOL. 100

(株)大成経営開発 統括室発行
TEL096-377-1101
FAX096-377-1114

Contents

1. 社長室から、こんど~です
2. 経営まめ知識：『期限経営について』
3. FZC：赤字でも融資が出る？
4. 今月のお勧め本



大成経営コンサルティンググループは、財務会計総合コンサルタント業として、企業経営に関するあらゆるご相談にワンストップで対応しております。

- ◆(株)大成経営開発・・・財務会計総合コンサルティング <http://www.taiseikeiei.co.jp>
- ◆(株)エイビスアソシエイツ・・・記帳代行、給与計算 <http://www.taiseikeiei.co.jp>
- ◆(株)船井財産コンサルタンツ熊本・・・企業再生、相続、不動産 <http://www.fzc-souzoku.com>
- ◆(株)アップワード エスト保険・・・生命保険、損害保険 <http://www14.ocn.ne.jp/~esthoken>
- ◆(株)大成アフェクション・・・居宅介護支援、通所介護事業
- ◆(株)大成グローバルトレーディング・・・商社、貿易業務 <http://www.taisei-gt.co.jp>

清永税理士事務所・飛石税理士事務所・今井税理士事務所・高木社会保険労務士事務所・竹馬社会保険労務士事務所
社会保険労務士あきおか事務所・村上司法書士事務所・的場土地家屋調査士事務所・行政書士法人エド・ヴォン

社長室から、こんど～です



3月になり春だなと感じる日が多くなりました。桜ももうすぐ満開です。毎月お読みいただいているこの『たいせいグループ通信』も今回で記念すべき100回目です。今まで書き続けてこられたのも、読んでいただいている皆様のおかげです。心から感謝です。また『たいせいグループ通信』を書くことにより、私もいろいろな事を皆様にお伝えしたいという思いから、たくさんの勉強をさせていただいております。まだまだ頑張っ200回目指して書きます。

引き続きよろしくお願いたします。

今回は、“**仕事に気持ちを込める**”です。これはいつも私が社員の皆さんに言っていることで、「何をするにも作業で終わらせないで、感情をこめて仕事をしなさい」ということです。ただの作業と思って淡々と事務的に終わらせる。これはお客様に対して失礼だと思っています。どんな些細な事の中にも心を込めるという考え方はとても大切なことです。

上甲晃さんの本で読んだ事があります。

簡単、楽、手間が省ける、カ、ラ、テ、は物事を進めるときはとても評価されてきたのが戦後50年間でしたが、裏返してみると、簡単で楽で手間が省けるというのは、一見経済的ですが、そこからは人間の心が省けてしまいます。たとえばお母さんが子供の誕生日に、朝から一生懸命に作った料理と、大枚をはたいてデパートから買って来た高級惣菜を並べたときに、どっちが子供は感動するでしょうか？ 食べてしまえば一緒かもしれませんが、気持ちを込めて作るからこそ、感動が生まれるのではないのでしょうか？



今の社会は感動なき社会だと言われています。日本の社会はこれだけ物質的に豊かになり、何がなくなくなったかと言うと、感動がなくなったのです。それは日本人が素直な心を失いかけているから、少々の事では感動しなくなったとも言われています。

仕事も全てにおいて同じです。「簡単に楽に手間を省いて」と考えているうちに、一番大切なお互いの心まで失ってしまいます。素直にお客様を見つめ、何を求めておられるのか、お役に立ちたいと気持ちを込めて接する。特に会計事務所の仕事はお客様に気持ちが伝わる仕事でなければなりません。お友達や、親や、兄弟にも見せない通帳や、財産、大切なものをすべて見せていただいています。そんなお客様に気持ちの伝わらない仕事は仕事とは言いません。

中小企業の経営者は私も含め、人生掛けて、命かけて、経営をしています。そんな人のお手伝いが出来るのが会計事務所です。「凡事入魂」で感動のある会社を目指します。お客様に教えていただいた言葉があります。**「当たり前のことを、バカにしないで、ちゃんとやる人が、出来る人」**。さらに心を込めてを付け加えて、感動のある仕事をしていきます。確定申告も終わりますが、ほっとしている暇もなく第二の繁忙期がやってきます。みんな元気に頑張ります。何でもご相談くださいませ。

ありがとうございました。



(株)大成経営開発社長 近藤 記)



社長ブログ：近藤社長の体と会社のダイエット日記
毎日更新しています！是非読んでください！
<http://www.taiseikeiei.co.jp/blog/diet>

経営まめ知識：『期限経営について』

弊社では、3月個人確定申告で超繁忙期です!! 月次法人決算業務をこなしながらなので、毎年の事ですが猫の手も借りたい時期です!! 早いもので私も29回目の確定申告ではないでしょうか? ところで、この『たいせいグループ通信』も100号だそうです!! 8年と4か月という事になります。東京事務所を開設した直後に、通信を始めたことになります。毎回毎回ネタ切れになりそうです!!



ところで一つの区切りである100号という通信に当たり『期限経営』についてお話をしたいと思えます。私は10年間サラリーマンをやりました。10年目である平成5年6月1日に辞表を提出して独立しました。また、その後10年間社長をやり、一人で東京事務所を開設するために、社長を辞め肩書きは何でもよかったのですが会長になりました。早いものでこの4月1日で東京事務所を開設して9年目に入ります。あと2年で会長を辞職する予定です。10年一区切りだと思っています。大阪市長橋下さんではありませんが、10年が賞味期限キレというところでしょうか?



この大転換期の21世紀は、アジアの時代です。グループ企業にとり会長辞職後の色々の事業構想を考えています。やりたい事が一杯ありすぎて、とても人生という限られた時間が足りそうにありません。スティーブ・ジョブズではありませんが、『もし今日亡くなるとしたらこの仕事をするだろうか?』という心境で生きています。期限を区切ると毎日の効果と長期的な効果は、計り知れないですね!! 人生は、時間だからです!! まして仕事は、何らかの成果を時間の中で求められていくものだからです!! 時間は、1秒1分1時間1日1年1生という構成になっています。これを人生に経営に生かさない方法はありません!!

ライフプランや経営計画には、必ず時間という期限があります。この時間という期限を最大限に活かすべきです。人生の目的に対して、期限を決めた目標を設定することにより戦略や戦術が具体的に出てきます。期限を設けない経営計画やライフプランはありません。だがしかし、この『期限経営』の効果をどれほどの人が理解しているのでしょうか? 何かを成していく人は、必ず期限を設けています。計画を書き出し目に見える形にして、言葉を発し周知徹底しています。『期限経営』の効果を理解しているからでしょう!! 私も仕事を始めて28年。今年で29年目になります。限られた時間という人生において、期限を区切りながら毎日毎年生きていく事を決めています。

是非みなさまも夢を書き出し期限を設けて生きていってください。期限を設けると不思議な事に人間頑張れるものです。期限も終わりもなく生きていく事は苦痛です。成果も喜びも失敗もありません。いや失敗と言うのかもかもしれません!! 『期限経営』は、喜びと感動と遣り甲斐生き甲斐を与えてくれます。ライフプランにおいても一緒です!!

みなさまの人生がより豊かになる事をお祈りします!!

(東京事務所にて
大成経営コンサルティンググループ会長 石本 記)



会長ブログ：自由人石本の毘沙門天世界放浪記
毎日更新しています! 是非読んでください!
<http://www.taisei-go.co.jp/blog>

FZC：赤字でも融資が出る？

「赤字だと、銀行からの融資は厳しい!!!」 そんな話を良く耳にします。しかし、損益計算書の利益が赤字でも、銀行が融資を出す時があります。利益が赤字であることで絶対に銀行は融資を出さない! というわけではありません。



利益が赤字でも、融資を出すケースとは？

■1. 赤字であっても、当期純利益が赤字であったのであり、営業利益・経常利益が黒字である。

融資を行った後の返済の原資は、企業が事業で稼ぐ利益により生み出される金額です。営業利益・経常利益が赤字であるということは、返済の原資がない企業ということになり、銀行は「どうやって返すの?」という見方をします。こういう見方をされると、新規融資は困難です。しかし、営業利益・経常利益、ともに黒字であるが、当期純利益が赤字であるというのは、その期、不動産の売却損、退職金などの特別損失があったため、来期以降その特別損失がなくなり、黒字になると考え、融資を出しやすくなります。

■2. 赤字であったのは、その期だけの特殊要因によるものであり、次の決算では黒字が確実である。

災害や風評などにより、業績が一時的に悪化することがあります。例えば、東日本大震災ではあらゆる業界の企業に大きな影響が出ましたが、その中で特に旅行業界に大きな影響が出て、売上が大きく下がりました。このような特殊要因により赤字になったが、それが収まることにより、次の決算では黒字確実であると銀行が見るることによって、銀行は融資を出しやすくなります。

ただし、その企業は次の決算で黒字になるだろう、と銀行は勝手に見てくれるわけではありません。企業側から、次の決算では黒字確実であることを銀行にアピールしていくことが大事です。

アピールする資料には、

【経営計画書】 今後3～5年の損益計画を含めた経営計画書です。そこで、次の決算で黒字になることを数字で示すとともに、その根拠も示します。

【直近の試算表】 前回の決算では赤字であっても、今期の直近月までの試算表で黒字になっていれば、今期は黒字で推移していることを銀行は確認することができます。

赤字であっても銀行が融資を出す場合を見てもみましたが、赤字企業にはやはり銀行は融資を出しにくいのも事実です。赤字企業であれば、すぐにでも取引銀行それぞれの自社への融資スタンスを探り、融資が困難であれば、現在の融資返済を減額や猶予するリスケジュール交渉を検討すべきだと考えます。

(株船井財産コンサルタント熊本 岡村 記)

今月のお勧め本



今月の弊社は一年のうちで超が付くほどの繁忙期。誰しも余裕がなくなってしまい、日々の些細な出来事の中でイライラしてしまっているようです。ですが、そんな中でも、ゆったり構えている人とイライラし続けている人がいるのも現実。その差ってなんだろうと思っているところで偶然目にした本書でした。イライラしないようにするのはなく、そうなった時どう自分を持っていくのか、対処法次第だとか。人生と仕事の「雑音」をきれいに消去する法を知り、日々楽しく過ごしたいものですね。お勧めの一冊です。

編集後記：今月号で記念すべき100号を迎えた小誌。最初から発行に携わってきたはなこにとっても、感慨深いものがあります。コツコツ積み重ねてきた時間の長ささと深さを実感。そして感謝です。